

# 松 風

■発行所 流通経済大学校友会 tel 0297-64-0001  
 ■〒301-8555 茨城県龍ヶ崎市平畑 120  
 ■発行人 佐藤 克實

## 平成 28年度 第2回 幹事会 開催

平成28年10月29日 午後1時より 竜ヶ崎キャンパス特別会議室にて、平成28年度 第2回幹事会が開催された。竜ヶ崎キャンパスでのつくばね祭に合わせて開催されました。幹事諸氏久しぶりの竜ヶ崎、何年振りかのつくばね祭ということで、空いた時間でキャンパス散策、大学祭を楽しめました。

会議は役員および幹事 事務局、多数が参加されました。まず、佐藤会長より挨拶があり、次に各議題について審議に入りました。特に今回は校友会会則、規程の改定という重要な議題を審議する会議となりました。



佐藤会長



審議する幹事



### 審議事項

#### 1. 校友会人事について

##### 副会長補充人事

作道 誠見 (4期生)

全会一致にて承認され、御本人挨拶された。

##### 支部長人事

選出は支部総会で行い、本部に報告する。

中華人民共和国 李 英川  
36期 新任

沖縄 小山晴久 13期 新任

長野 山森幸一 14期 新任

南九州 青木禎一郎 2期 退任

井上 博 4期 新任

北海道 林 康夫 7期 退任

久保裕史 9期 新任

本日出席者については各々挨拶があった。

#### 2. 平成28年度校友会年間計画の実施状況

#### イ) 支部組織——活性化として

- 懸案であった 沖縄、長野支部は結成できそれぞれ結成支部総会を開催した。
- 既設支部総会は各支部のスケジュール通り開催されている。

千葉支部は青春祭に合わせて開催

海外も 韓国支部 6月17日

中国人民共和国 9月24日

中華民国 11月26日

に各総会を開催している。(もしくは予定)

#### ロ) 広報関係

卒業生に対する広報紙(新聞タイプ)の発行を予定して、多目の予算を計上したが未実施である。

#### ハ) 他 学生への援助関係

- 経常支出は例年通り、予算に基づき実施 (別途明細参照)

つくばね祭、青春祭 各30万円

- 今期単発支出分としては  
つくばね祭卓球大会助成金  
(茨城支部主体で実施。好評)  
10万円

リオ五輪参加3選手壮行

大学主催 合計で 15万円

ナウチョサキテ壮行会

祝い金 柔道部主催 3万円

新体操部発表 祝い金 2万円

(これは学生支援は適時、効果的方法にて実施すべきとの前年度の決議方針に基づき、執行部判断にて実行したものである)

#### ニ) 50周年記念事業関係

- 留学支援  
大学に5月寄付 100万円(昨年度1名 大学を通して実施)  
本年は11月に決定予定

- 国際交流支援 250万円  
6/18~7/2 米国  
南オレゴン大学より5名の学生

を招いて本学学生、地域小学生との交流を行った。（若手職員の献身的協力があつた。）

#### ○ 正課支援、学生自主活動支援

計画では10件（各10万円）を予定して募集したが、実績は6件であった。

#### ● 正課支援

「先輩のキャリアを聴こう」  
社会学部国際観光学科  
高橋准教授 4万円

「女子学生による女子学生のための大学環境づくり調査」  
新松戸学習支援センター  
職員 中山光 10万円

「流通情報学部 新入留学生4  
ゼミ合同見学会及び発表会」  
流通情報学部 流通情報学科  
増田教授他 10万円

#### ● 自主活動支援

「東西南北近隣 B級グルメMAPの作成」  
社会学部 濱野ゼミ杉原玄樹  
グループ名 ちーむSGHR  
10万円

「RKU WEEKしゃべり場プロジェクト」  
国際観光学科 香川ゼミ  
興水友晴 グループ名  
S・P・S 10万円

「RKUバーチャルユニバーシティ」  
大学紹介用スマートフォンアプリの作成 流通情報学部  
関ゼミ大森秀也 グループ名  
Intimate インテイメイト  
10万円

#### 3. 校友会、会則、規程の改定について

当件は検討小委員会の数度の検討を経て準成案として幹事会

に提議された。幹事会議では担当より時間をかけ改定箇所全般に亘って説明された。一部質問があつたがそのまま承認された。

改定主旨は、

- 1、 校友会は組織体として近年、設立時に想定した実体と変わってきている。会員数の増加、地域的拡がり、50年という時間の積み重ね、それに伴う会員の高年齢化などでありそれを考慮する。
- 2、 改正、付則は必要に応じその都度実施してきたが長期間、多年度に亘る補、改正で字句表現、構成で統一性に欠けたり、実態とずれた部分が生じた。

主な改正点

#### ○組織

##### ●人事

幹事（幹事選出規程に基づき選出される幹事）の70才定年制の導入。

任期（2年）内に70才を迎える者は候補者となれない。  
幹事定員を選出区分別に規程した。上記選出者は10～20名以内

##### ●支部

助成金の増額  
2000円より3000円 に  
設置

都道府県単位にこだわらず、広域性、地域会員数、活動実態を考慮し柔軟に対応し設置する。（校友会支部と認定する）

##### ●幹事権限

校友会組織の整備に伴い（特に地域会員を掌握する地域支部の充実）地域支部長を本部幹事会に加えた事により、幹事会が名実共に会員の意思の集約体となった。

総会は会員数の増加（3万有余、開催地域、回数、出席者数）により全会員の意思を的確に表明、集約、決議する機関とすることは困難である。

よって、幹事会を最終の意思決定機関とした。これに伴いよ

り幹事会運営規則も厳密化した。開催回数、日時の事前明示。出席者数による 事案成立要件の厳密化。幹事会議案の事前周知。重要議題の決済要件の厳密化。

#### ○学生表彰

従来は卒業式に行うとしていたが、執行部判断にて時期を逸しない様、適時、的確に実施する。

#### ○条文形式整備

各規程を全て統一の見地より検討し同一の表現、形式、意味用語に見直し実態と照合、現運用形態に合わせた。

校友会組織運営を直接変更する事項ではありませんが、今後規程に基づき運用等がスムーズに実行でき、会員もその内容を理解し易くなりました。

又改定履歴も必ず表記することとなり運用経緯も把握することができます。

#### 4. 学生に対するアカデミックな面での活動に対する顕彰について

一部幹事よりスポーツ面のみの顕彰ではなく文化面でも充実させ、支援し活動を育成、誘引すべきではないかという意見が以前より表明されていた。一部意見交換もされていたが継続審議事項となっていた。

#### 検討

表彰規程は文化面もスポーツと同列に規程されている。（一般論として）

結果、実績に対する表彰である。文化部面全般に対して学生段階で顕著な結果、実績を具体的な対象を前提に評価制度をつくることは難しい。

問題意識は共有できるが、現場での実施策としてはハードルが高い。

表彰といっても一件5万円程度なのでスポーツ部の活動費全体からみれば微々たるもので、気持ち程度である。文化面でやれてもその程度である。育成とは言えない。

校友会内での当施策の位置づけも現在ではその程度である。

(全体の施策計画の元で)

現在、優秀者には奨学制度(大学として)があり、校友会としては個別学生活動支援はしている。

、 結論 現在実施している支援活動を継続し、将来誰もが評価できる

事案が発生したら個別に検討する事にした。

○ 海外支部長も年一回でも招集してはどうかという意見も出ている。

## 5、その他

○ 日本在住の中国人留学生のOB、OG会を開催するという、計画がある。

# つくばね祭見学

今回の幹事会は竜ヶ崎にてつくばね祭に合わせて開催されました。

会議開催前につくばね祭を見学しました。校内はお祭りの雰囲気にあふれ、一般の人達も入場し賑わっていました。特にステージ上のイベントは今人気のトレンドイエエンジェルということで多くの人達が周りに集まり楽しんでいました。

OBとして感じたことは昔と比べて(3、40年前 大昔か)催し物がすこし少ないなとも。

新松戸に学生が分散されたので仕方ないか。でも総数は前より多いはずでは。

出し物、は外の物販写真の通り旧校舎と学生ホール間の通路と他1件位。音楽等常設は教室、ホール等3件位。研究、クラブ発表等も2、3件位でした。

久しぶりに見学したつくばね祭でしたが伝え聞いていた通りの印象でした。イベント、物販中心で研究発表などお堅いものがない。いわゆるお祭りである。ステージ装置などは立派で大型バックモニターなどレンタル、設置にどの位の経費が掛かっているんだろうかなど余計な心配もしてしまいました。その分、そのステージをつかった催物をメインにしているようでした。当日の天気とか手配の事などを思うと担当者の苦労はそれなりに大変だった事でしょう。今の学生の大学祭にかける力配分の程を知りました。

研究発表とか少ないのは一般の風潮として仕方ないとしても、ならば物販だけでももう少し盛り上げられないかなとも思いました。これは短時間の見学者目線でのこと。実行者としては相当盛り上がりはいるのだと思う、我々がそうだったから。あくまでも今やっている学生が中心。自分たちの祭りなのだ。テーマの通り楽しければいい。そんな気持ちになりました。



## 平成28年度決算・29年度予算（案）

| 項 目<br>(単位千円) |           |        | 28年度実績 |        | 29年度予算 |        |
|---------------|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
|               |           |        | 内訳     | 計      | 内訳     | 計      |
| 前年度繰越         |           |        |        | 197859 |        | 195397 |
| 収入の部          | 会費収入      |        | 12500  |        | 10200  |        |
|               | 利息収入      |        | 256    |        | 306    |        |
| 収 入 計         |           |        |        | 12756  |        | 10506  |
| 支出の部          | 運営活動費     | 行事費    | 2268   |        | 2268   |        |
|               |           | 会議費    | 5036   |        | 6094   |        |
|               |           | 広報費    | 338    |        | 744    |        |
|               |           | 事務費    | 61     |        | 150    |        |
|               |           | 雑 費    | 52     |        | 50     |        |
|               |           | 小計     |        | 7757   |        | 9306   |
|               | 援助費       | 大学祭援助費 | 986    |        | 960    |        |
|               |           | 諸行事援助費 |        |        |        |        |
|               |           | 小計     |        | 986    |        | 960    |
|               | 50周年記念事業費 |        |        | 6475   |        | 6500   |
| 支 出 計         |           |        |        | 15219  |        | 16766  |
| 翌年度繰越         |           |        |        | 195396 |        | 189137 |

平成28年度分50周年事業費決算内訳  
主なもの 千円

|               |      |
|---------------|------|
| 留学支援費         | 1000 |
| 学生留学支援        |      |
| 国際交流事業支援費     | 2500 |
| 国際交流事業のバックアップ |      |
| 社会貢献活動支援費     | 300  |
| 社会貢献、奉仕活動の支援  |      |
| 正課支援費         | 240  |
| 正課の活性化        |      |
| 新松戸2号館への寄贈品   | 2000 |
| 50周年記念品       | 382  |

## 平成29年度分50周年事業費予算内訳

|               |      |
|---------------|------|
| 留学支援費         | 1000 |
| 学生留学支援        |      |
| 国際交流事業支援費     | 2500 |
| 国際交流事業のバックアップ |      |
| 社会貢献活動支援費     | 500  |
| 社会貢献、奉仕活動の支援  |      |
| 正課支援費         | 500  |
| 正課の活性化        |      |

## 平成 28年度 第3回 幹事会 開催

平成29年2月25日に新松戸キャンパス502教室にて、午後2時より本年度最後となる第3回幹事会が開催されました。役員および幹事、事務局、オブザーバー、53名が参加されました。会長よりご挨拶があり、次に各議題について審議に入りました。年度末ということで例年通り、本年度決算（見込み）、来年度事業計画、予算等が審議されました。今回会議重要議題は人事でした。大幅な入れ替えがありました。70才定年制による退任、それに伴う新幹事の選任です。これにより、現会長、副会長1名も退任となり、新たに選任することとなりました。

## 審議事項

1. 平成28年度事業進行状況及び  
予算対比

決算案 別表 参照

予算との差—大きなもの内容

会議費 支部総会開催関係

130万円 未実施

案内はがき返信率13%位  
予算としては全員対象であるが、特に会員の多い地域  
に対して毎年これを繰り返すのはどうか

年毎に対象を絞ったりして

試行している。

広報費 会員向けの新聞計画した。

170万円 未実施

新松戸2号館竣工寄贈品

当初予定品を職員、学生の要望

する品に変えた（女子トイレ  
改善） 100万円未実施

2. 平成29年度事業計画及び予算  
(案)について

予算案 別表 参照

## ○通常事業計画及び予算

## ●行事費 (例年通り)

記念品関係 卒業式記念品代  
2268千円

クリスタル置時計 1200  
名分 (後援会と折半)





## ●会議費

幹事会開催 年3回  
2112千円  
幹事会出席 旅費 補助  
1800千円  
懇親会補助  
300千円

## 支部総会開催関係

## 会員案内通信費

8000名×@124

992千円

(本来なら会員全員 4万人弱  
であるが、層別し絞っている)

## 助成金 総会出席者実績で支給

1350千円

(例年実績で見積もり)

450名×3千円)

## 本部役員出席費 補助

840千円

## 海外支部開催関係

3カ国支部総会助成

各70千円 210千円

本部役員参加 出張費

300千円

## ●広報関係

校友会 ガイドパンフレット

300千円

校友会 スポーツタオル

300千円

支部総会出席者への記念品と  
して年度毎デザイン変えて贈呈

## ●事務費

150千円

## ●援助費

(現役学生 例年通り)

960千円

大学祭 (つくばね祭、青春祭)

600千円

## ○50周年記念事業画(案)

## ●留学生支援

(当初計画どおり当年度分として)

1000千円

大学を通して補助する

欧米豪は 1名当たり 50

万円 アジア各国 25万円

金額は渡航費、留学保険金程  
度

(実施期間は 平成27年度か  
ら31年度までの5カ年間)

## ●国際交流事業支援

2500千円

大学を通して補助する

米国 南オレゴン大学より5名

招致 (前年通り)

## ●社会貢献活動支援 (例年通り)

500千円

大学を通して補助する

## ●正課支援 (例年通り)

500千円

大学を通して補助する

## ●新校舎竣工寄贈品

(龍ヶ崎新2号館) 2000千円

50周年記念事業

合計 6500千円

通常予算外積立金より取り崩し

## 3、幹事改選

## 退任幹事

70歳定年及び 任期満了再任

辞退 10名

佐藤会長、田中副会長、染谷監  
査、糸賀監査、菅谷幹事、広瀬  
財務委員長、瀬川総務委員長、  
羽田運営委員長、尾形幹事、菊  
池幹事

新任 9名

幹事選出規程に基づく 推薦  
候補者として(個人立候補者  
は有りませんでした)

(3名以上の賛同、推薦者名  
の表記は省略)

安藤伸樹 (10期) 小倉昭

雄 (7期) 秋山洪志

(11期) 鳥谷部秀樹 (9期)

外雅子 (12期) 菊池功

(8期) 奈良林勝久 (14期)

齋藤豪 (41期) 佐藤忠信

(20期)

留任 8名



任期満了 再任推薦候補者  
(3名以上の賛同、推薦者名の  
表記は省略)

作道誠見 (4期) 捧新平  
(4期) 仁平晴美 (7期)  
対木岳彦 (13期) 佐久間  
行雄 (23期) 山本哲郎  
(5期) 永井正 (11期)  
白鳥栄司 (13期)

#### 支部長幹事

再確認のため現支部長幹事を  
表示する  
当幹事は本部幹事会による改  
選、選出規程によらない

寺崎真——社会福祉 (25期)  
飯田克行——茨城 (3期)  
新任——大嶺支部長後任)  
高橋憲一——岩手 (2期)  
小原文男——みちのく (7期)  
山森幸一——長野 (14期)  
久下淳——近畿 (30期)  
新任——藤谷支部長後任)  
亀田滋——中国西 (2期)  
中尾増一郎——中国東 (1期)  
平田久朝——九州北部 (1期)  
久保裕史——北海道 (9期)  
石戸清治——栃木 (6期)  
新任——椎名支部長後任)  
田中錦城——静岡 (14期)  
桜庭均——青森 (4期)  
植木幹雄——群馬 (1期)  
我妻実——秋田 (1期)  
種田隆——中部 (3期)  
溝上一生——千葉 (2期)  
井上博——南九州 (4期)  
新任——青木支部長後任)  
斉藤伸一——四国 (7期)  
新任——松永支部長後任)  
五十嵐進——山形 (4期)  
日野壮太——北陸 (6期)  
増澤憲雄——神奈川 (3期)  
薄田春男——東京 (3期)  
西原淳一——埼玉 (6期)  
小山晴久——沖縄 (13期)

#### 退任顧問

石川元亨 (1期)  
渡邊佳昭 (2期)

#### 留任顧問

伊達和夫 (5期)  
顧問就任予定  
佐藤克實 (1期)

田中博也 (4期)

以上 承認された。

#### 次期 会長選出

現佐藤会長より

安藤伸樹 (10期) 氏が推薦さ  
れ全会一致にて承認された。

#### 次期 会計監査

染谷、糸賀 監査退任による  
小倉、永井幹事 が推薦され  
承認された。

#### 4. 校友会 大学学内事務組織 2017年4月より

|       |       |            |
|-------|-------|------------|
| 総務部   | 宮本雅浩  | 折山俊樹       |
| 運営部   | 宮本敏郎  | 吉野毅        |
|       | 川崎貴久  |            |
| 編集部   | 篠原正行  | 山崎将義       |
|       | 手本翠   |            |
| 支部活性部 | 大塚良一  | 川村         |
|       | 典由    |            |
| 会計    | 大島会計長 | 中澤副会<br>計長 |



校友会大学学内事務組織担当紹介

新松戸、龍ヶ崎両キャンパスの  
バランスを考えた。  
若返りを図った。

(なお当案は、校友会幹事会にて  
執行部組織の見直しを計画して  
おりその結果により一部手直し  
がされる可能性がある。)

#### 5. 平成29年度 幹事会日程

|        |     |     |
|--------|-----|-----|
| 5月27日  | (土) | 新松戸 |
| 11月11日 | (土) | 新松戸 |
| 2月24日  | (土) | 新松戸 |

#### 6. 次回幹事会構成員について

顧問の扱いについて。

役員としての顧問職はあるが具  
体的な職務は規定されていない。  
今まで幹事会での位置づけが不明  
確であったが、今回、明確に顧問  
は幹事会を構成しないとした。  
但し、必要に応じ会長判断にて幹  
事会開催日ごとに出席を要請する  
ことができる事とした。採決  
には加われない。

#### 7. その他

○今後の支部総会開催予定に  
ついて

○未整備 支部への支援強化  
——福島、静岡、山梨

○意見として  
新卒者(新加入校友会会員)に  
対する組織としてのPR強化、  
新生活地での支部組織連絡先な  
ど

○大学から  
留学支援内容の変更につい  
て報告があった

## 新任者紹介挨拶



新会長 安藤伸樹氏 (10期)



新 正幹事



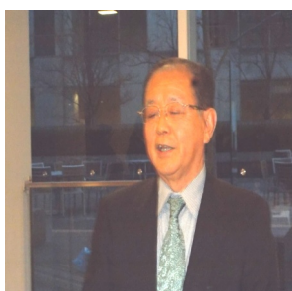
新 支部長

## 退任幹事挨拶

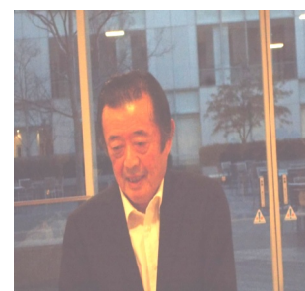
写真見にくくて申し訳ありません



前佐藤会長



前田中副会長



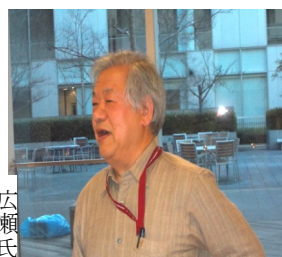
顧問石川氏



瀬川氏



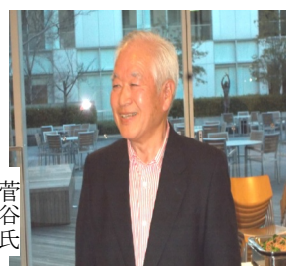
羽田氏



広瀬氏



染谷氏



菅谷氏



尾形氏



菊池氏

## 校 友 の 広 場

## 茨城校友会オープン卓球大会

8月29日

恒例の茨城校友会杯オープン卓球大会が開催されました。リオ五輪の団体男子・女子の活躍が持ち込まれたような熱い戦いが繰り広げられました。

スポーツ健康科学部古川先生他のベテラン選手による卓球教室も開かれ茨城卓球の明日も考えた大会となりました。



## 中国西支部総会

9月9日（金）

銀座ライオン広島駅ビル店

中国西支部総会（広島県・山口県）が開催されました。

参加者（敬称略）

亀田支部長 2期、村本 2期、松原 16期、土田 21期  
西川 23期、芦刈 47期

本部及び職員

田中副会長 4期、宮本 14期、永井 21期 小坂（就職支援S）

総会

翌18日に広島市で父母懇談会があり宮本部長ほか職員も出席しての開催となった。広島近郊からの出席が中心となる。他の支部同様、遠方からの校友を集める考え方について話し合った。2期から47期まで幅広い世代が集まり流大の各時代の話で盛り上がった。



## 第1回長野支部総会

9月17日（土） 18時  
長野駅前 油や

第1回の長野県支部総会が開催されました。

参加者

内藤由幸（12期）山森幸一（14期）清水一樹（14期）飯島研一（15期）  
町田敬（21期）岩下博明（25期）作道誠見（校友会本部、4期）

宮本敏郎（事務局、14期）

今回が初めてとなった総会は、事務局からの大学の近況報告の後、学生時代の学寮や下宿生活、クラブ活動の話題で盛り上がりました。また、今回出席した卒業生は、次回の出席者を少しでも増やす努力することを確認しました。

最後に、今回世話役となった山森さんが、長野支部長とすることを満場一致で決まり、山森さんの「北信流の締め」として小林一茶の句の詩吟が披露され閉会となりました。



## 校 友 の 広 場

## 栃木支部総会

9月17日 土曜日、  
「タイ料理の店メナム」駅東店にて（椎  
名支部長のお店です）

。佐藤会長から昨年50周年を迎えた  
母校の現在の姿、

齊藤事務局から新松戸・龍ヶ崎両キャン  
パスの現状と校友会の役割、  
について説明がありました。



15時より支部総会、701名い  
る栃木県内の校友会員にいかに参加  
を呼びかけるかについて活発な意見  
交換をしました。

17時より懇親会に入り、龍ヶ崎  
の話や学生時代の思い出話で時間の  
経つのも忘れ21時近くなりお開き  
としました。

出席者（敬称略）

椎名功（1期）佐藤克實（1期）宮  
本靖（1期）石戸清治（6期）  
齊藤哲三郎（7期）石崎剛久（10  
期）生井克延（14期）片岡博巳  
（18期）



## みちのく・山形 合同支部総会

9月10日 土曜日 17時30分～  
仙台ガーデンパレス

みちのく・山形合同支部総会が開催されま  
した。

前々日は駅前が冠水する集中豪雨、当日と  
翌日は仙台ジャズフェスティバルと  
天気イベントに忙しい仙台での合同支部  
総会となりました。

山形支部からも五十嵐支部長、4期の棚  
橋さん今年卒業の48期松本さん3名  
の出席がありました。山形での単独開催も  
話題になりました。

出席者（敬称略）

4期 岩田暁、五十嵐進、棚橋徹、作道誠  
見 5期 渡邊雄史  
6期 今野浩一 7期 小原文男、齊藤哲  
三郎 10期 今野晶則  
12期 西方正博 13期 加賀宏明、佐  
藤元彦  
15期 伊藤浩明、小野寺秀典 21期  
阿部康彦 34期 関裕人  
48期 松本拓麻



## 中華人民共和国支部総会

2016年9月24日（土）12:00～16:00  
北京港中旅維景國際大酒店（北京朝陽区北  
三環東路2号）

第1回中華人民共和国支部総会が開催さ  
れました。

参加者：45名

倪佳、張倩、趙利峰、馬永喜、秦丕礼、  
崔榮梅、趙磊、田新、孫佳、王?、孫可、  
陳立平、王金泉、康凱、張鵬、孫東泉、  
張鵬、郭曉宏、陳超、李寧、牛東來、馮  
智、李光一、柯禹煌、鍾金良、聶春雨、  
馬榮昌、金峰、李英川、孫鵬、兆羽、牟?、  
劉忠宝、許春燕、朱月、翁心剛、馬秋君、  
李宏、李微

佐藤克實（校友会会長）、松尾純利（日本通運  
中国社長）、楊光（日本通運北京支店長）、  
武田太輔（日本通運北京副支店長）、宮本  
敏郎（事務局）、寺本翠（事務局）

中華人民共和国での初の支部総会は、首  
都北京での開催となりました。総会には  
北京だけでなく、福建省、広東省、遼寧  
省、上海など遠方からの参加も多く、龍ヶ  
崎での生活や10年以上も連絡が取れなかっ

た同級生が顔を合わせるなどして、第2  
の故郷としている日本での思い出話で  
盛会に終わった。なお、中華人民共和  
国校友会支部長は、今回世話役となっ  
た李英川さんが満場一致で決まり、来  
年以降、中国は広いため場所を変えて  
開催することになった。

佐藤会長の感想から

上海日通勤務の今回の世話役、李英川  
さんの的確、迅速な情報発信とネット  
ワーク構築の素晴らしさに感謝。総会  
のあとに2次会、3次会へ会合が続き、  
中国の方々の人間同士の繋がりと胃腸  
の強さにも驚かされました。



## 校 友 の 広 場

## 秋田支部総会

10月15日(土)  
「大館矢立ハウス」

秋田支部総会が開催されました。

参加者(敬称略)

我妻支部長(1期) 佐藤副支部長  
(1期) 大山(4期)  
高橋(4期) 北島(4期) 村上(3  
0期) 三浦(30期)

「秋田ウッド(株)」工場見学

廃木材と廃プラスチックを粉砕、加熱してウッドデッキ等に使用する建材を製造する会社。三浦氏が専務を務めている。

支部総会・懇親会

「大館矢立ハウス」

我妻支部長挨拶 昨年末の大学創立50年イベントにも秋田から2名の参加をした。前年の横手「あいのの温泉」に続き「矢立温泉」での宿泊総会とした。秋田県も広い、県南、県北各地開催を考えて参加者を増やせるように工夫していきたい。齊藤事務局 大学の現状、校友会活動についての説明。来年度開設のスポーツ健康学部スポーツコミュニケーション学科募集が始まりました。受験者の紹介をお願いします。懇親会に入り大学時代の寮・下宿の思い出、共通の友人の話、母校スポーツの活躍、などの話題で盛り上がり大館銘酒「北鹿」を美味さも手伝い楽しい宴席となりました。



Copyright(C)流通経済大学校友会 All rights reserved.

## 南九州支部総会

10月15日(土)16:00～  
鹿児島県鹿児島市(ホテルグレートイン鹿児島)

第4回南九州支部総会が開催されました

出席者(敬称略)

1期生 松元洋一  
2期生 青木禎一郎、緒方哲郎  
3期生 増田俊男  
4期生 井上博、井島功一、松葉輝幸、  
棟久眞次  
6期生 黒葛原哲



Copyright(C) 流通経済大学校友会 All rights reserved.

7期生 鶴丸文一

10期生 今村秀仁、川畑昭久、松村篤彦  
本部及び職員  
田中博也(4期)、川崎貴久(44期)

16時より支部総会、150名いる南九州支部(宮崎36名・鹿児島48名・熊本66名)の校友会員の参加の呼びかけ、さらには現役学生にいかに関係の存在を知らせるか等について活発な意見交換をしました。

田中副会長から昨年50周年を迎えた母校の現在の姿、校友会の役割、来春より開設されるスポーツコミュニケーション学科等について説明がありました。

川崎職員より、大学の現状、総会当日に行われていた箱根駅伝の予選会、硬式野球部の試合結果をはじめとするクラブ活動の状況等の報告を行いました。

18時より懇親会、学生時代の思い出で盛り上がり、最後は出席者全員で校歌斉唱し、鹿児島の夜に歌声が響き渡っていました。

また、今回の総会で青木禎一郎支部長から井上博新支部長にバトンタッチされました。



Copyright(C)流通経済大学校友会 All rights reserved.

## 北海道南支部総会

10月15日

「ホテル法華クラブ函館」

北海道南支部総会が開催されました。

参加者（敬称略）

稲田靖直支部長（1期）長内康（4期）川

原一泰（13期）

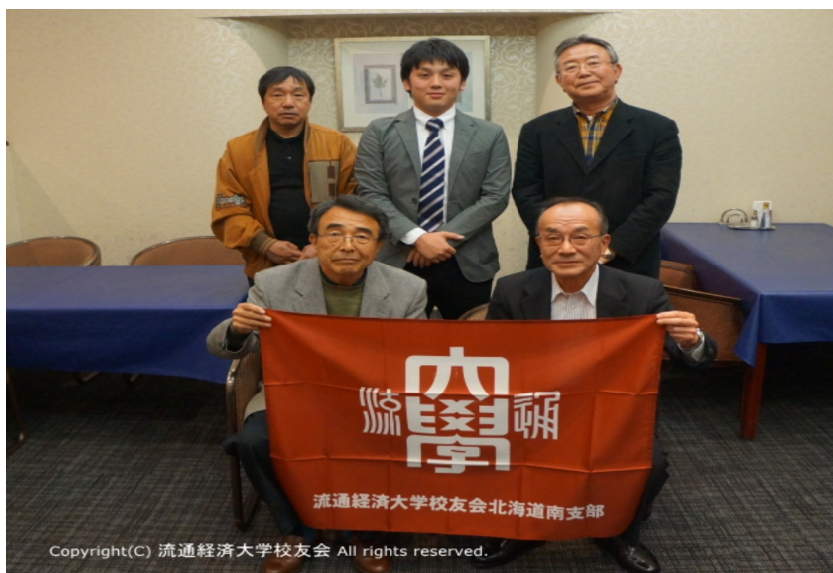
林康夫北海道支部長（7期）本部から折山

俊樹（41期）

今回で3回目の北海道南支部総会となりました。

林支部長も本部からの折山さんもラグビー部OBです。

龍ヶ崎での学生時代の話や、活躍する現役の話で盛り上がり楽しい支部総会になりました。



Copyright(C) 流通経済大学校友会 All rights reserved.

## 北海道支部総会

## ○北海道支部総会

## 1. 参加者名（敬称略）

①林 康夫 ②島 不二彦 ③守谷 梯

④福津 博己

⑤名井 敏哉（仕事の都合により、すぐに退席されました）

⑥松村 良 ⑦久保 裕史

## 2. 校友会出席者

①作道 誠見 ②藤本 英城

## 3. 支部長の交代人事・今後予定

林 北海道支部長より退任の挨拶があった。

また、新支部長に久保裕史さん、新副支部長に福津博己さんが決まりました。

## ■2016年度 第二回校友会幹事会について

日時：10月29日（土）13時から

場所：龍ヶ崎キャンパス 特別会議室 久保新支部長が出席

## ■校友会 第7回北海道東支部総会

日時：11月5日（土）18時から

場所：四季の味わい「醍醐」 釧路市錦町5-3

福津新副支部長が出席  
 ※久保支部長はラグビー部OB、  
 福津副支部長は少林寺拳法部OB

## 4. 本部から校友会と母校の現在について

校友会員数2016年3月末 38,256人（学部卒のみ）

役割として、会員相互の親睦を図る。建学精神に則っとり母校の発展に寄与。

県単位に会員100人いる件に支部、地域によってブロック支部

現在、中華人民共和国、韓国、中華民国に海外支部。

母校の現在

5学部8学科

学生数、キャンパス別について

学生数 5249人 男子4324

人 女子925人

キャンパス別 新松戸約3000人

龍ヶ崎2250人

そのうち 留学生290人

既に1期生から10期生あたりの恩師は現任教員に居ないこと。

4月1日より、スポーツコミュニケーション学科が誕生することを説明。

現在、北海道出身学生は34人、龍ヶ崎C29人、新松戸C5人

龍ヶ崎Cは、ラグビー部10人、サッカー部5人、剣道部5人などの運動部に所属している学生が殆どであることを説明。

## 5. 懇談会で

出席された校友の皆さんは、クラブ活動（ラグビー部、少林寺拳法部、ソフトテニス、陸上競技）経験者であり、その学生時代の話で盛り上がった。

以上



Copyright(C) 流通経済大学校友会 All rights reserved.



Copyright(C) 流通経済大学校友会 All rights reserved.

## 校 友 の 広 場

## 北海道東支部総会

11月5日

釧路市「四季の味わい醍醐」

北海道東支部総会が開催されました。

写真

前列左から 辻、武者、伊関

後列左から 三宅、関本、福津、金子、日野

伊関支部長からの報告

釧路は朝から例年になく早い雪が降りましたが夕方から雨に変わり、総会が終わるころには止むというこの地域らしくない天気となりました。

予定通り無事に第七回支部総会を開催することが出来ました。

本部より参加の三宅さんから大学の現状等をお話し戴いたことや、12期の金子英雄、日野渉両氏が10月に龍ヶ崎を訪れた事の報告等、龍ヶ崎の話題で盛り上がり、学生時代に戻り、楽しい時間を過

ごすことが出来ました。

二次会に2期の武者さんが都合で欠席されましたが、7名で話のつづきやカラオケで大いに盛り上がり、来年の再開を誓って解散しました。



Copyright(C)流通経済大学校友会 All rights reserved.

## 11期 同期会

10月22日 (土)

龍ヶ崎キャンパス

11期生(1979年卒)の同期会が開催されました。

。

出席者(敬称略)

岡野(旧姓青山)、秋山、久保寺(旧姓碓)、

宇野、植竹勇

植竹栄寿、黒沢、椎名、土田、永井、宮代

(旧姓中山)

松本、横田、渡辺、中山(旧姓飯塚)、長谷川(旧姓大竹)

大塚、久保田、佐藤、西野(旧姓奈須野)、新津(旧姓山浦)

21名出席

13時より野尻学長から大学の移り変わりについてお話があり

つづいて赤石事務局長より大学の現在の説明をいただきました。

集合写真のあと、大きく変わった龍ヶ崎キャンパス内を散策し

学食1階ホールで懇親会に入りました。

近況報告や学生時代の思い出話に盛り上がり、楽しい時間を共有しました。



Copyright(C)流通経済大学校友会 All rights reserved.



Copyright(C)流通経済大学校友会 All rights reserved.

## 校 友 の 広 場

## 岩手支部総会

平成28年11月12日16時から

岩手支部総会を開催しました。

出席者は本部から 田中副会長 篠  
総務部長代理の出席を頂き、  
支部会員は高橋(2期)佐々木(4期)  
葛西(7期)藤原(9期)松本(1  
1期)安田(23期)黒川(25期)  
江口(27期)安達(27期)嶽間  
沢夫妻(29期)中村(35期)村  
上(36期)と13名となり計15  
名の参加でした。

高橋支部長より挨拶をし、本部から  
の出席者田中副会長並びに篠総務部  
長代理より校友会と大学の近況等を  
兼ねて祝辞を頂きました。  
校友会の規定改定とか受験生の確保  
対策並びに岩手県内の高校13校の  
訪問等が印象的でした。

協議では次のことを決定いたしました。

1. 決算並びに次年度予算
2. 来年の総会は平成29年11月  
11日18時から開催
3. 役員の選出  
副支部長 葛西 盛一 藤原  
恒 荒澤 成彦  
事務局 安達 勝名  
監事 中村 恭子

その後三次会まで交流を深め楽しい  
一時を過ごしました。

## 北陸支部総会

2016年 11月12日土17時30分～  
和食懐石 いわし屋

流通経済大学校友会 北陸支部総会

## 【出席者】

十二 友一(2期、富山県)  
伊東 幸一(4期、富山県)  
日野 壯太(6期、富山県)  
加藤 勘二(7期、富山県)  
小泉 恒(19期、富山県)  
岩田 史見(37期、富山県)  
太田 智士(10期、福井県)  
山崎 将義(36期、本部出席)

総会・親睦会 式次第

1. 総会開催挨拶 日野北陸支部長
2. 議題

前支部総会課題報告 (佐伯学園長ご夫  
婦招待計画を断念した経緯、等)  
福井県での開催についての趣旨説明  
「佐伯学園長を偲ぶ会」参加報告  
参加者増への推進対策(特に福井県在住者)  
3. 本部事務局 山崎 将義(龍ヶ崎キャン  
パス教務課係長)

大学と校友会活動の近況、課外活動の状  
況報告

北陸出身の在学生の部活動を含め近況報告

日野支部長挨拶と内容について

昨年は金沢市で開催し、今年は福井市で  
開催。  
多くの福井県在住者参加を希望したが1名  
となった。  
福井県の参加者が少ないのは地理的、交通  
不便によるものであれば近畿圏との連携の  
必要ではないかとの検討事項が意見として  
挙げられた。

福井県からの参加者、太田さんから福  
井県在住者に積極的に連絡をとっていく  
ので従来通り北陸三県での開催継続を求  
められた。

よって従来通り、北陸支部は富山・石川・  
福井の三県で纏めることと決定した。  
佐伯学園長ご夫妻を北陸にお招きする案  
の断念経緯については、佐伯学園長がお  
亡くなりになり、3月24日に東京青山  
斎場で「偲ぶ会」があり、日野支部長が  
参列したこととその模様。  
且つ、お墓参りに行ってきたことなどの  
報告があった。

支部総会参加者推進について。次回開催



場所、開催時期などについて話し合いがあ  
り、同時に母校並びに校友会への要望につ  
いても意見交換があった。

## 懇親会

十二友一氏の乾杯の音頭で懇親会に入り各  
自の近況報告や龍ヶ崎の思い出で盛り上が  
りました。  
加藤勘二氏が佐伯先生の愛唱歌「蒙古放浪  
の歌」の披露があり、最後に「流通経済大  
学校歌」を全員で合唱し締めとしました。  
※先輩たちの校歌を歌う声の大きさに驚き  
ました。  
当たり前のことですが先輩たちを見習いた  
いと思います。

報告者：山崎 将義



## 青森支部総会

平成28年11月12日（土）17:30～

20:00

鮎処 あすか 青森市新町1丁目

## 【出席者】（敬称略）

支部：①稲田 靖直（1期）、②桜庭 均（支部長、4期）、  
③正田 明（8期）、④土田 祐太郎（11期）、  
⑤貝原 広保（17期）

校友会：①作道誠見（副会長、4期）



## 総会模様

今回の青森支部総会には6名が出席した。話題は事務局からの母校の近況報告に始まり今年の台風にまで及んだ。台風は予期せぬ方角からいくつも襲ってきたが幸い「リンゴ」などの農産物に大きな被害がなかったこと、陸奥湾では「ホタテ貝」が豊漁にもかかわらず三陸産の不漁の煽りで値が高いことなど、温かみある津軽弁で話された。やがて、自己紹介となったが、青春時代を過ごした龍ヶ崎の懐かしい「茨城弁」、街中の食堂で生まれて初めて食べた「マグロのフライ」、そして今も変わらない「関東鉄道の装い」など、学生時代のエピソードに花が咲き、楽しいひとときを和気あいあいに過ごした。次回はさらに多くの出席者の愉快的な話題に期待したい。

報告者：作道 誠見

## 四国支部総会

11月23日（水）12:00～

香川県綾歌郡宇多津町 ホテルサンルート瀬戸大橋

第11回四国支部総会が開催されました。

## 出席者（敬称略）

2期 支部長 松永 敏男  
5期 副支部長 好多 義和  
7期 会計監査 西山 正義  
9期 書記 氏家 徹志

4期 河上 潤一郎  
7期 斎藤 伸一  
7期 岡本 謙三  
8期 浜野 秀樹  
10期 多田 博文  
12期 富田 義裕  
21期 笠谷 順資  
21期 徳元 俊二  
本部から 25期 宮本 雅浩

1 出席者全員の自己紹介  
2 大学の近況報告  
宮本職員より、大学の現状報告（5学部8学科、学生数約5300名、新学科スポーツコミュニケーション学科設置等）や四国出身の在学生数（39名 R35名、S4名）、課外活動関係の近況を報告した。

## 3 平成28年度報告

松永支部長より次の報告がされました。

- ・平成28年度四国支部決算報告
- ・校友会会則改定により総会援助2000円→3000円

- ・支部活性化について

○支部会の年2回実施の提案がされました。（支部総会と県別分科会の開催）

愛媛・徳島・高知で県別分科会を3年に1度開催する。

総会は、香川県で毎年実施する。

- ・2017年1月からの新支部長に斎藤 伸一さんが決まりました。（任期4年）

その後、懇親会で学生時代の思い出や近況などを語り合い、大いに盛り上がりました。



## 校 友 の 広 場

## 近畿支部総会

2016年11月26日（土）17：00～20：00  
 加太淡島温泉大阪屋ひいの湯  
 和歌山市加太142 Tel 073-459-1151

## ・ 参 加 者

佐藤（会長 1期）、藤浴（支部長 1期 大阪）  
 澤田（1期 大阪）、皿谷（3期 大阪）、  
 溝手（7期 大阪）  
 春名（25期 兵庫）、伊藤（26期 奈良）、  
 石津（30期 大阪）  
 久下（30期 大阪）、根岸（31期 大阪）、  
 水田（31期 兵庫）  
 黒田（事務局 8期）  
 （計12名）

## ・ 議 題

## 1. 支部長挨拶

始めに、藤浴近畿支部長より、今回、初めての宿泊での総会を開催することになった経緯等について説明があった。

## 2. 大学および校友会の現状

続いて、佐藤校友会長より、大学および校友会の現況等について説明した後、事務局の黒田より幹事の定年制とスポーツ分野

の活動状況等について補足した。

## 3. 役員改選

根岸氏の乾杯の音頭により、懇親会が開始された。  
 藤浴支部長より、校友会正幹事の定年制に伴い、近畿支部の活性化と若返りを図るため、役員の改選について参加者からの意見を求めた。  
 協議の結果、下記のとおり新役員が決定し、藤浴支部長を始めとして、新体制を会員全員でサポートすることとなった。

|        |                 |
|--------|-----------------|
| 支 部 長  | 久下（30期）         |
| 副支部長   | 石津（30期）、根岸（31期） |
| 秘書（会計） | 水田（31期）         |
| 終身顧問   | 藤浴（1期）          |

## 4. 自己紹介

続いて、指名制による自己紹介、カラオ

ケによる持ち歌披露が行われた。

1期生を始めとして毎年参加している会員が多いことから、自己紹介も話題を変えてお話しされる方も多く、持ち歌披露についても、芸達者な関西人が多いということで大いに盛り上がりとともに、二次会へと繋がっていった。

## 5. その他

支部総会について、従来のやり方にとられず、開催地の変更、宿泊やイベントの実施等も含めてはどうかとの提案から、今回初の宿泊総会となったが、地元和歌山からの参加者がなかったことが残念であった。

会員数の少ない地域支部では、持ち回りで総会を開催している事例もあり、今後の新体制の活躍に期待したいところである。

（文責：黒田）



## 中華民国支部総会

2016年11月26日（土）18：00～21：00  
 場所：中華民国台中市「全國大飯店」

## 参加者：17名

陳池元（14期）、李光正（14期）、江俊慧（19期）、張寶賢（19期）、呂佳霖（19期）、林錦德（20期）、劉俊雄（22期）、李崇賢（22期）、洪煌隆（24期）、陳弘哲（29期）、鄭世雄（30期）、齊藤延啓（26期台湾駐在）  
 今村憲一（日本通運台湾総務部長）、小松（日本通運台湾総務次長）、作道誠見（校友会副会長）、宮本敏郎（事務局）、折山俊樹（事務局）

今回の支部総会は初めて台中市で開催しました。初めての方や仕事の関係で台湾に駐在し、偶然校友会のHPで台中市での開催を知った方などの参加もあった。自己紹介では、龍ヶ崎市内でアルバイトをしながら厳しかったアパート生活をしてたことや、ゼミの恩師の思い出話で盛会に終了した。会員から、毎年開催したいという要望や、卒業以来母校を訪問したことがないので一度行ってみいたい等、意見が出ました。



## 校 友 の 広 場

## 日本在住中国人会

2016年12月3日(土)12:00~14:30

場所: ホテルローズガーデン新宿

参加者: 11名

李光一(38期)、孫闡(38期)、紀海濤(35期)、劉立軍(38期)

張鵬(40期)、馮智(40期)、?雪蓮(40期)、王爽(46期)

作道誠見(校友会副会長)、宮本敏郎(事務局)、寺本翠(事務局)

9月に北京で開催された校友会中華人民共和国支部総会の報告を受け、本学を卒業後も日本を生活拠点として活躍されている中国人卒業生が新宿で集まりました。

アルバイトをしながら授業料を工面したなど厳しかった4年間の学生生活の思い出や、貿易関連の仕事に従事している参加者が多く新たなビジネスチャンスにつながりそうな話題で盛り上がりました。



## 群馬支部総会

平成28年12月3日(土)

高崎ワシントンプラザホテル宴会場

群馬支部総会報告

参加者(敬称略)

植木支部長(1期) 金子(3期) 平山(5期)

上杉(6期) 松永(7期) 佐藤(7期)

品川(21期) 塩田(26期) 境野(26期)

田中副会長(4期) 齊藤事務局(7期)

金子副支部長の司会で開会

植木支部長から

一昨年、老神温泉で宿泊型支部総会を企画したが参加者が少なく、昨年より高崎駅前のこのホテルに戻した。

昨年と同数の参加者があった。

これからも参加者増に向けて工夫をしたい。

田中副会長から、

特に少子化・進学人口の減による新入生確保。

お子さんお孫さんを後輩にしましょう。

また、今回の参加者が来年は友人を一人誘って参加者を増やしましょうと提案がありました。

齊藤事務局

母校の現状について。部別学生数、キャンパス別学生数

女子学生の人数など説明。今年の課外活動の活躍状況の話

平山さんの「乾杯の音頭」で懇親会に入り各人の仕事の話、龍ヶ崎の思い出、ブリマムや日清でのアルバイト経験談、金子さんの経営する老神ブルーベリー園に是非お越しください等、色々な話題で盛り上がりました。

各人、席を移動しながら懇親を深めました。

## 観光クラブ総会

3月4日

に校友会の職域支部「観光クラブ」の懇親会が開催されました。

国際観光学部先生方、主に観光業界へ就職されたOB・OG、在校生の皆さんも出席されて、楽しいパーティとなりました。



## 校 友 会 の 広 場

## 剣道部創部50周年式典

1月21日(土)午後1時から龍ヶ崎キャンパスメインアリーナ

剣道部創部50周年記念式典が開催されました。

21日(土)午後1時から龍ヶ崎キャンパスメインアリーナでOBによる演武「日本剣道形」、現役学生部員も含めての稽古。昭和41年糸賀先輩の声掛けで6名の部員からスタートした剣道部ですが、50年の歴史と各時代の部員の努力を感じる緊張感のある稽古会でした。

5時より会場を「アイガーデン下平」に移し、記念式典に入りました。

中山龍ヶ崎市長、野尻学長に挨拶をいただいた後、糸賀先輩の乾杯の音頭で祝宴に入り、OB・OG、現役部員も交えて楽しい式典になりました。



## 編 集 後 記

本年度下期幹事会では重要な決議がおこなわれました。

規約改正と70才定年制の導入です。現実には定年制を規約に盛りこみ、年度末には実施しました。今まで役員の70才定年制はありましたが、いわゆる本部幹事としても、運営に当たる重要職務をいつまでも続けるといわけにもゆかないでしょう。個人差は有れ加齢に伴う衰えは多かれ少なかれ訪れます。70才という年齢での線引きの是非は別にしても、定年制の導入は止むを得ないことといえます。なによりも能力のある若い会員が大勢おられます。後顧の憂い無しというところでしょうか。

大学創立より50年、校友会設立より50年、設立から今現在までずっとその職務の中心で働いてきたのは1から4、期のみなさんでした。50年という節目、70才前後という年齢、丁度良いときなのでしょう。

筆者も4期で設立初期より参加してお

りましたので、一時期仕事の関係で離れていた期間は別としておおよその歴史は知っているつもりです。

今まで初期よりの幹事メンバーが運営を主導してきた事は事実です。それだけメンバー間の繋がりが強かったことでもありましょう。その後加わった幹事も卒業年次的に飛び飛びで個人的な相互面識も少なかったということがあったかもしれません。ただ結果として運営にある種の色合いが付いたかもしれません。だからこそ、定年制です。

初期の幹事が今まで一線で頑張ってきたのは、只一事、義務感だと思います。ある時期迄なんとかこの組織を維持し、形を整え、後輩に引き継ぐ、此の一心だったと思います。

この思いは、この初期メンバーの端くれに連なる者としての筆者の思いでもあります。

執行部は大幅に入れ替わりしました。会

長、副会長の交替と若返り。本部幹事の大幅な、ある意味総入れ替的な人事と、若返りとなりました。

大学50周年、校友会50周年、新たな歩みを踏み出すこととなったのです。

50年前に夢見たOB会の姿が現実となりつつあります。しっかりとした本部組織、それを支え全国に広がる支部組織。それに連なる会員個人。

年をとっても総会案内が来たら杖をついて出かけましょう。家族はもうやめなさいと云う。そんな話は耳に入りません。酒の席では誰も知らない60年前のことを昨日のことにように話します。一人でも同じ話題を共有してくれたらまた次、彼に同じ話をしに出かけましょう。私にもその日はもうすぐなのです。それを夢見ていたのです。

S生記